

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・教育費としての書籍代に費やす金額が増えてきている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・シングル家電の動きが良い。特に薄型テレビが入ったセットが良く売れている。また、パソコンも前年140%と伸び、全体の売上増に貢献している。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・テレビ、DVDなどの販売量は予想より、20、30%は増加している。また、冷蔵庫、エアコンも、前年より多少良くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・以前のように高額な車が良く売れることはないが、決算期ということもあり、売行きは良い。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内旅行の相談、見積りも多く受けている。また、愛知万博関連のパッケージ旅行も売出され旅行を取り巻く環境は良い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・八十八カ所参りの客の乗車がみられるようになった。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・3か月前と比べると、来客数や予約は増加している。
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・例年の3月は、卒業式や送別会などの注文が多く入ってきたが、今年は最後の1週間に集中し、前半の売上がかなり落ち込んでいる。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・春物に商品を切り換えたが、バーゲン目当てで来店される客が結構いる。また、バーゲン時期に比べて、春物に切り換えてから来客数が減った。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・客単価のダウン（1%強）が続いており、売上高も前年と比較すると、衣料品は8%程ダウン、食品は魚が10%下回っており、ホワイトデーのあった菓子はまずまずだったものの、その他は良くない。また、セールを行っても、なかなか来客数が増えない。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・既存店の来客数を3か月前の昨年比でみると、103.3%が103.2%と、ほぼ横ばいである。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・前年と比較すると、単価や来客数は、多少動くことはあっても、売上で見ると、微減で安定している。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・3月の各企業の決算需要を見込んでいたが、例月よりは多かったものの期待ほどではなかった。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・年間を通じて、一番の需要期である月であるが、来客数の動きが非常に悪い。結果、受注量が落ちている。
都市型ホテル（経営者）		単価の動き	・来客数の動きという部分では、若干良くなっているが、それ以上に単価の長期低落傾向が続いている。	
設計事務所（職員）	競争相手の様子	・この時期は、例年なら良くなるが、今年は、競合相手も含めて仕事量が例年よりやや少ない。		
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・景気が底入れするにつれて、大都市と地方都市との経済格差がますます開き始めた。低成長経済のなかで、地方都市が浮上する要素は現状では考えにくい。	
	百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数、売上高ともに前年を下回った。食品類は前年を維持したがファッション関連商品の落ち込みが目立った。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・特売商品・値引き商品などの単価の安い商品は以前より売行きが良いが、生鮮食品・雑貨等定番商品の売行きが悪い。	
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・宴会などは減っていないが、宿泊客が昨年に比べ大幅に減った。また、予約状況も余り良くない。この要因として愛知万博の影響で四国への客が減っていることが考えられる。	
悪くなっている	タクシー運転手	お客様の様子	・相乗りして帰宅する客が減って、1人で乗る客が多くなった。その分客単価は落ちている。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品が貢献し、売上が伸びている。

変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的に景気は上向いていると思うが、単価アップや受注量が増えておらず厳しい状況が続いている。消費者は欲しいものしか買わず、価値のあるものしか売れない状況である。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型クレーンの稼働状況は、高稼働で推移しているが、買換え需要にはまだつながっていない。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・かなりまとまった金額の工事の受注ができているが、収益面では、依然として厳しい状況が続いている。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・例年、年度末は繁忙期であるが、今年は貨物量のにぎわいは無い。荷物の発注の小ロット化が進み、前年割れの状態が続いている。	
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・取引先の大型流通店長の話によると3月は後半になると来客数、売上額共急カーブで上昇するのだが今年は例年になく低調で、家電など大型消費財の動きも鈍く、日用品、生鮮食品なども悪かった昨年よりもさらに悪い気がする。と聞いている。	
	公認会計士	取引先の様子	・確定申告が終わり、前年比を見ると、売上、利益ともに、前年と伸びている企業は少なく、ほぼ7割が前年比で減少している。	
やや悪くなっている	輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・商業用小荷物の荷動きはやや落ちてきている。	
悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末を迎えての在庫調整により、販売量が落ち込んでいる。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	-	-	
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・年度末ということで、求人、求職者数ともに増えたが、4月以降は大きな需要は見込めない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年に比べ、3か月ぶりに増加に転じた。情報サービス業では、企業誘致に伴うコールセンターより大口求人があった。卸売・小売業では、新規出店に伴う販売員の大口径求人があったため、大幅に増加した。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	雇用形態の様子	・中小企業を中心に、即戦力採用に対し二の足を踏んでいる感がある。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新たな求人広告がない。葬儀社ぐらいしか景気の良いところはない。